

中国の現行の安全生産監督管理体制



報告者:黄凱傑

重慶炭鋳安全監察局副巡視員

中国の現行の安全生産監督管理体制

1

政府による統一指導

2

各部門の法による監督管理

3

企業の全面的責任

4

大衆による監督

5

社会による監督と支持

01

政府による統一指導

2014年改正の「安全生産法」及び「安全生産領域の改革発展に関する意見（安全生産領域改革発展意見）」は、地方各級の党委員会及び政府に対し、終始安全生産を重点として位置づけ、計画・指導を強化していくよう求めている。党と政府の主要責任者は当該地域における安全生産の第一責任者であり、指導組織の他のメンバーは担当範囲内の安全生産業務に対し指導責任を負う。地方各級の安全生産委員会は主任を政府の主要責任者から選抜し、委員は同級の党委員会及び政府並びに関連部門の責任者で構成する。

政府による統一指導

地方各級党委員会の主な職責

1. 党の安全生産方針を真摯に徹底的に執行し、当該地域の経済・社会発展の全局面を掌握しつつ安全生産業務を同時進行し、安全生産に関する重要な事柄は定期的に研究を行い決定する。

2. 安全生産に関する監督管理機関のトップ及び幹部人材を強化する。

3. 安全生産の履行に関する業績審査と責任追究を厳格化する。

4. 安全生産に関する宣伝教育と世論誘導を強化する。

5. 安全生産業務に対する人民代表大会の監督・促進の役割、及び政治協商会議の民主監督の役割を発揮させる。

6. 計画、宣伝、政法、組織編成などの部門に安全生産の保障を支持するよう働きかける。

7. 安全生産に対する社会各界の積極的参与・支持・監督を促す。

政府による統一指導

地方各級政府の主な職責

1.安全生産を経済社会発展の全体計画に組み入れ、安全生産特別計画を制定及び実施し、安全生産に対する投資の保障制度を整備する。

2.安全生産業務に関する研究と手配を速やかに行い、地域に応じた監督管理責任を厳格に実行する。

3.安全生産委員会の役割を十分に発揮させ、安全生産責任の目標管理を実施する。

4.安全生産巡回検査制度を確立し、各部門と下級政府の職責履行を監督及び促進する。

5.安全生産に関する監督管理及び法執行能力を強化し、安全と科学技術の革新を推進し、情報化管理レベルを引き上げる。

6.安全に関する参入基準を厳格化し、安全リスクを指導並びに抑制し、隠れた重大な危険性の除去を促し、根本対策を強化する。

7.緊急事態対応のための管理を強化し、安全生産緊急救援体制を整備する。

8.法及び規則により事故の調査並びに処理を行い、問題点の改善と実行を促す。

各部門の法による監督管理

各関連部門は「業界を管理する際は必ず安全も管理する、業務を管理する際は必ず安全も管理する、生産・経営を管理する際は必ず安全も管理する」「主要管理者が責任を負う」の原則に従い、安全監督管理の職責を履行する。安全生産領域の改革発展に関する意見」によれば、職責は次の4つに分かれる。

各部門の法による監督管理

1



安全生産監督管理部門

安全生産監督管理部門は、安全生産に関する法規・標準・政策・計画の制定・改正、法執行の監督、事故の調査・処理、緊急救援管理、統計分析、宣伝教育・研修など総合業務の責任を負い、職責の範囲内で業界分野の安全生産及び労働衛生の監督管理と法執行職責を担う。

2



安全生産監督管理の職責を有する関連部門

安全生産監督管理の職責を有する関連部門は法及び規則により関連業界分野の安全生産及び労働衛生の監督管理職責を履行し、監督管理の法執行を強化し、法律法規違反行為を厳しく取り締まる。

3



他の業界分野の主管部門 党委員会及び政府のその他の関連部門

他の業界分野の主管部門は、安全生産の管理責任を有し、安全生産を業界分野管理の重要内容とし、業界計画、産業政策、法規・標準、行政許可などの面で業界の安全生産業務を強化し、企業・事業単位の安全管理強化を指導並びに促進しなければならない。

4



党委員会及び政府のその他の関連部門は、職責の範囲内で安全生産に支援と保障を与え、共同で安全の発展を推進していかなければならない。



03

企業の全面的責任

企業は自社の安全生産及び労働衛生に全面的責任を有し、安全生産に関する法定責任を厳格に履行し、自制的で持続的改善が可能な内部メカニズムを構築かつ整備しなければならない。

企業の全面的責任

新「安全生産法」では18項目で企業の安全生産責任を規定



- 1.安全条件は法律法規に適合していること
- 2.日常管理には規則と制度を確立すること
- 3.要求を満たせるよう資金投入をすること
- 4.人員配備は基準通りであること
- 5.教育・研修では全員合格を目指すこと

企業の全面的責任

6.安全を確保するための設備は主体工事と同時に整備すること

7.危険と思われる箇所にははっきり標識をつけること

8.工程と設備は合法的で信頼性があること

9.危険物は厳しく管理すること



10.隠れた事故の危険性は直ちに除去すること

11.非常口は常に通行を確保すること

12.危険作業は専門技術者が管理すること

13.危険防止策は事実在即して告知すること

企業の全面的責任



14. 保護具を配備し・使用する
ようにすること



15. 関係者が協力して管理
にあたること



16. 緊急対応マニュアルを
制定し、定期的に訓練を行
うこと



17. 事故が発生した場合
は直ちに対応にあたるこ
と



18. 労災保険は法に従い加入
すること



04

大衆による監督

労働組合の結成と、社会全体で「命を大切にし、安全に注意する」という世論や空気を形成していくことで、世論と労組による監督メカニズムを確立し、安全生産の実施を保障する。



05

社会による幅広い支援

社会と仲介組織の役割を重視し、安全生産に
技術的支援とサービスを提供する。

中国の現行の安全生産監督管理体制



これら5つの安全生産監督管理体制はどれも欠くことも代替もできず、それぞれに職責と特徴がある。これらは相互に連携し、促進し合い、補い合う、統一的な有機体で、これらの体制間で協調し力を合わせ、一丸となって市場経済における安全生産監督体系を形成し、安全生産の監督管理をより規範化していくことが不可欠である。

存在する問題

(一) 組織の不備

特に末端の郷鎮レベルの安全生産は大部分が組織化されていない。現任の郷鎮安全生産管理者は基本的に兼業で、これらの監理者は、その責任の重さと、任務が多いわりに低報酬という現実から、業務に専念し、安全生産に関する専門知識や関連の法律法規を真摯に学ぶことができず、入れ替わりも激しいため、安全生産監督管理の法執行という重要任務を遂行できずにいる。

(二) 職責が不明確

安全の監督管理は当初労働部門が統一管理していたが、安全生産監督管理、品質監督管理、住宅・都市建設、労働、衛生、公安などの多部門分業管理に移行し、その管理責任を分散させた結果、複数の責任者による政策や職能の混乱、責任の押し付け合いやいがみ合い、足の引っ張り合いなどが起こり、安全監督管理に空白が生じ、船頭多くして船山に登るという状態になってしまっている。



(三) 法律法規の不備

現行の安全生産に関する法律法規は実際のニーズに応えられず、一部には法の抜け穴が生じている。法律法規の不備は、現在安全生産の法執行に関する問題として指摘が集中しているものの一つで、早急な法整備が望まれる。

提案

(一)安全の「レッドライン」を死守

習近平総書記は「終始人民大衆の命の安全を第一とし、発展のため安全を犠牲にしてはならない。これを決して超えてはならないレッドラインとしなければならない」と何度も強調している。「レッドライン」意識は科学的発展観と人間本位の本質を表し、大衆のために党を結成し、民のために執政するという理念を貫き、命こそが最も尊いという価値観を伝えている。安全生産は最も基本的な民生のニーズであり、経済・社会の発展を根本から保障するものである。安全生産をしっかりと徹底するには、最も断固とした態度で「レッドライン」を死守し、最も厳格な要求で責任を果たし、最も厳しい手段で法執行を強化し、最も効果的な措置で隠れた危険性を除去しなければならず、安全生産を発展パターンの転換、構造調整、発展の促進と結びつけ、都市の安全、企業の安全、大衆の安全を確保しなければならない。



(二)安全責任の厳格な実行

安全責任制は安全生産の魂である。真摯に安全責任制を制定・執行することが安全確保のカギ及び魂であり、安全生産を強力に保障するものである。そのためにはまず責任が重要である。安全責任を明確にし、各級党委員会及び政府、各関連部門並びに企業の安全責任を確立及び整備し、「横にも縦にも徹底」した安全責任制を構築しなければならない。そして責任を知ることも必要である。安全責任の重要性に対する認識向上に力を入れ、各級指導者、幅広い安全監督管理の幹部、企業の各従業員の安全に対する責任感を強化し、安全生産責任をすべての職場の一人ひとりの心に刻ませなければならない。さらに責任を全うすることも大切である。責任を負うことはカギであり立脚点でもある。安全責任制、特に主要責任者の職責を徹底し、級ごとの監督検査と、内部と外部の協力、末端への徹底を実施し、級ごとの責任制と安全責任追究制を厳格に実施・遂行し、確実に責任が果たされるようにしなければならない。



(三)管理能力の着実な向上

安全生産における「防、減、救」能力を全面的に強化し、各種の事故を効果的に抑制する。「防」を際立たせるためには、予防重視で効果的に事故を防ぎ、安全リスク評価及び論証メカニズムを確立し、企業の立地選択とインフラ整備、住民の居住区域の配置を科学的かつ合理的に確定すること、計画を厳格に管理し、安全生産を高危険度プロジェクト批准の前提条件とし、都市・郷鎮計画の配置、設計、建設、管理は必ず安全を前提とし、重大な安全リスクに対する「一発アウト」(1つでも不合格項目があれば批准しないこと)を厳格に実行すること、安全にかかるコストを企業誘致の重要な判断条件とし、立ち遅れた高リスク生産工程やプロジェクトの誘致は断固回避し、企業誘致で火傷を負わないようにすることが必要である。「減」を際立たせるためには、安全生産の隠れた危険性を発見し対応する能力と重点業界に対する特別取締を強化し、厳しい管理と検査を堅持し、事故のリスクを直ちに除去するようにしなければならない。安全リスクの抑制と隠れた危険性の発見・対応の二重の予防体制の構築を急ぎ、企業をカバーし、監督管理部門と連携する安全リスク抑制と危険性排除システムを確立し、事故予防能力と安全管理の科学化水準を高めなければならない。「違法取締」を展開し、厳格な態度で、違法行為を処罰し、典型的事例はどんどん公開し、終始「違法取締」に対する断固とした姿勢を崩さず、安全生産の秩序を整えていかなければならない。「救」を際立たせるためには緊急対応能力を高め、事故による危害を軽減させなければならない。段階に応じて必要な緊急対応体制や救援チーム、救援物資の備蓄体制、緊急指揮系統を整え、安全事故に対する緊急救援措置の大幅な科学化、可視化、迅速化を実現し、安全生産の最後の防衛ラインを頑丈に築かなければならない。





(四) たゆまぬ安全の基礎固め

改革革新を堅持し、長期にわたり安全生産を制約してきた深層部の問題解決に力を入れる。そのためには、厳格に事実即ずという要求を真摯に実行し、安全監督管理の法執行を全面的に強化し、監督管理の法執行保障を強化し、情報化を加速させ、施設や装備を整え、人員を確保し、経費を保障しなければならない。安全生産に関する地方の関連法規や標準の制定及び改正をさらに進め、安全生産に関する費用や責任保険といった経済政策を真摯に実行し、事故の報告及び事故の調査・処理の規範化を強化し、「機械化・自動化による人員削減」、公共安全保障行動と重大な災害対策、安全対策や技術対策工事を大々的に推進し、緊急救援体制と指揮管理情報プラットフォームの構築を強化し、「安全生産月間」や公衆安全教育行動などを着実に展開していかなければならない。



ありがとうございました

不備がありましたら、
ご指摘、ご指導下さいますようお願い申し上げます。